



当医療生協の病院・診療所は、開設時からじん肺治療や労災認定などの支援に取り組んでいます。このため全国労働安全衛生センターなどが主催する「じん肺・アスベストプロジェクト」に参加しています。今年は3月22・23日に東京で開催され、各地の医師や安全センター担当者に加えて弁護士、患者・家族などの参加がありました。

最初にじん肺・アスベスト疾患の基本となる「じん肺管理区分」や「従事歴」の証明、X線やCT画像の読影など実践的な基礎知識を学びました。

じん肺・アスベスト被害を救え



発行者
大分県勤労者医療生活協同組合
大分市大字宮崎953-1
電話 097-568-2299

また、各地の取り組み報告では、石綿肺がんの認定要件である暴露歴が10年以上ありながら石綿小体が少ないとして不支給になった例で、裁判で逆転勝訴し、認定要件の運用の不合理性が明らかになったとの報告でした。

一方、アスベスト関連の作業歴はないが、間接暴露で肺がんや中皮腫を発症した件では、裁判所が建物の賃貸人の責任を認めています。また、教員が体育館に使用されたアスベストに暴露して公務災害認定された例などの報告がありました。

じん肺やアスベスト疾患で今も苦しむ人がいます。不条理な痛みに手をさしのべる医療はまさしく命の砦です。じん肺やアスベスト疾患を扱う医療機関を持つ医療生協として啓発や先進的な事例に学び、職員の知識向上と情報共有が必要と感じました。

(本部・武石)

今、テレビや新聞報道に触れるたびに、これまでに大きく不安な気持ちが大きくなっている。

一昔前は反戦・平和を訴える集会がよく開かれていた。子供たちが戦争に巻き込まれないためにと参加していた。その一方で、まさか日本が戦争に二度と突き進むことはないだろうという気持ちだが、どこかにあったのも事実で、最近までそう思っていた。

しかし、特定秘密保護法や集団的自衛権行使容認などと、反対の声をもちながらもせざるに前のめりになっている姿を見せつけられると、これはただ事ではないという思いが強くなってきた。今は孫たちが将来、他国の戦争に巻き込まれないかと本気で危惧を抱いている。今、小さな声も上げずにいて一生後悔したくない。

(河)



春の火災防止、避難訓練

法律で定められている病院の火災避難訓練が先日実施されました。今回は、入院患者の避難訓練が主体で、模擬患者となった職員を二階の病室から避難させます。実際にやってみると手順に沿えなかったことや手問取ったことがあって、訓練だからよかったと思いましたが、日頃の訓練がとても大切だと感じました。

東日本大震災から3年



以上が経ちましたが、最近では大分市でも震度5弱の地震が夜中に発生して驚きました。家具の固定など日頃の備えとともに、災害時にどのような行動ができるか、心の準備も必要だと思います。(リハビリ室・隅)

ボウリングで交流

大分県労働者福祉協議会主催のボウリング大会に生協から3名で参加しました。大会には県内の労働組合・福祉事業団体から100名を超える選手が集まりました。

競技では軽く250オーバーの猛者もいますが、私たちは、日頃から医療生協の活動にご理解とご協力を頂いている皆さんとの親睦と交流に努めました。おまけに最高齢

「原因探しの弊害に気をつけよう」

臨床心理士 吉里恒昭

私たちは学校で科学的思考を学びます。「なぜそうなったのか、原因は何だ?」と考えて物事を解決していきます。理科の実験はまさにそうです。「原因がわかったので解決できた」という経験を積むと「問題にぶつかると原因を探す」という発想が自然と身につきます。

しかし、心理的ストレスのある問題に遭遇した時、「原因探し」がうまくいかず、逆に問題が悪化することも少なくありません。例えば不登校。「なぜ学校に行けないのか」と原因を探すことも大切ですが、原因(悪者)探しにこだわることで問題が複雑になることもあります。様々なことが原因に見えてくるのです。育て方、親や子どもの性格、学校の対応、先祖…等々。探し出せばきりが無い…。

そんなときは、「どうやったら解決に近づくのか」「まず今から何ができるか」を話し合うことで道が開ける場合もあります。「原因はよくわからないが、できる事を探し続けたら登校できるようになった」というケースもよく出会います。どうやら「原因探し」は解決の必要十分条件ではないようです。

「何でこうなった?なぜ?どうして?」の畏に気づいて「どうなりたいか。まず何ができるか。」という発想も時々取り入れていくことは如何でしょう。

出場の賞も頂き、楽しい交流ができました。

(中村)



長い間ありがとう

ございました

医療生協の職員として33年間。受付・窓口の事務から生協本部では、組合員活動などを担当して多くの方に支えられ大変お世話になりました。

これからは、一組合員として医療生協活動に関わり、少しでも役立てればと思っております。機関紙「お元気ですか」にも組合員活動の報告ができるよ

うに頑張ります。長い間ありがとうございます。長い間願います。(中村慎二)

出資・増資で強く、大きく!

医療生協の主役は、なんと言っても組合員の皆さんです。出資、参加、利用で医療生協を大きく、強くしましょう。

だれでも出資金 **10 (1,000円)** で組合員になれます。

また、組合員の皆さんの追加の増資もいつでも受け付けています。

詳しくは、病院、診療所の窓口でお尋ねください。

たんの自動吸引システムの将来

大分協和病院院長 山本 真

すでに何度か書かせて頂きましたが、たんの自動吸引システムの開発は、片田舎で細々と始めた趣味の研究が、ある日突然、国策研究に取り上げられるという、私たちにとっては凄まじいプレッシャーの中で作業でした。田舎の鋤山技師に政府から突然オファーがくる映画「アルマゲドン」の小型版のようでした。

そして、そのシステムというものも、当初考えていたものから様々な挫折を経て全く違う概念、動作を持つものに変貌して完成を見ました。春のこない冬はない、と言われますが、解決できない課題はないとの信念を持って楽観的に奮闘しました。幸運もありました。当初、たんと言え

ば肺の奥から湧いてくるものというイメージがありました。私たちがシステムは、そのようなたんの力を吸い上げるといふほど。力はありませんでした。にもかかわらず実際には極めて有効であったのは、慢性期状態の患者さんのたんの大半は、唾液や鼻汁などの上気道からの分泌物が原因であったことです。

そういうものなら私たちのシステムは、ほとんど全てを補足してくれま。このことによつてこれらの患者さんのたんの9割以上を自動で吸引可能であり、介護者の負担を大幅に減らすことが可能となったのです。その結果、このシステムはかなり高価であるにもかかわらず、これまで約700台が病院や在宅の

現場で活躍してくれています。

しかし課題もそこからは生まれました。本当に肺の奥から湧いてくるたんの量をどうするか。現在もこの課題に対して真剣に向き合っています。最近この解決も可能となりました。肺の奥のたんを引き出すための機械にカフマシーンというものがありません。肺に陽圧をかけ、次に陰圧をかける動作を繰り返してたんを出そうというシステムです。このシステムは、回路が単純なため、患者さんの呼吸を再吸収してしまつた場合、最大5回しか連続動作できないという欠点がありました。ところが呼吸を再吸入させない機種がイタリアで生まれ、私たちの自動吸引システムの上でその新機種を動かすと、実に効率的に肺の奥の痰を自動吸引してくれることがわかったので

このため数時間も連続で使うことも可能です。この結果、このシステムは重症の呼吸器疾患において極めて有効な呼吸管理ができることが分かってきました。たんの多い呼吸器疾患で、人工呼吸器管理を行わねばならないような状態は、ある意味最重症といえます。しかしそのような状態もこのシステムを用いることで、安定した呼吸管理を長期的に実現できるようになってきました。

佐伯 中の島通信

4月になって、職場に新しい職員を迎えたところも多いのではないかと思います。

新入を迎えて、職場にも多少の緊張感が漂うのもこの時期です。どんな職場でも新人さんの多くは、「職場になじめるか」「人間関係が築けるか」と不安を感じていると思

考えてみれば、これこそ当初夢見たシステムといえるのです。現在このシステムについて、この夏の学会に発表すべくデータをとめているところです。また新しい提案をわが病院から出せることを誇りに思いますが、頑張っているところです。



ます。このときの先輩や同僚の一言は、とても大切です。

診療所にも4月から新しい仲間が増えました。分らないことは誰にでも聞きやすく、どんなことでも相談できる職場づくりを心がけたいものです。仕事は努力すれば覚えられますが、「より良い仕事は、良い人間関係から」です。(佐伯・後藤)

紫外線対策は大丈夫?!

日差しが気になる季節の到来です。太陽光は目に見える光以外に、見えない光(赤外線・紫外線)を含んでいます。日焼けは、紫外線を浴びすぎて肌が赤くなったり、水ぶくれになったり、その後褐色になった状態をいいます。慢性的にはシミの原因になるほか、皮膚腫瘍の発生の原因にも。長年に亘り慢性的に浴びる機会が多いと加齢による老化とともに皮膚のシワ、たるみの形成に関

与します。だから美肌を気にする女性ばかりではなく、誰でも紫外線できらだけ肌に浴びない対策が必要です。

日常生活でできる対策は、紫外線の強い時間帯の外出をできるだけ避けて日陰、日傘、帽子の着用、素材を含め衣服の着け止めクリームを上手に使うことです。ムラなく(二度塗り)、こまめに(2〜3時間ごと)、曇りの日でも。

新人さん紹介

◎大分協和病院

看護師・片野 彰

4月に入った片野です。ALSや終末期の看護に興味があつて、当院の病棟に入りました。看護師経験はまだ短いですが一生懸命頑張ります。

給食調理員・佐藤理絵
3月末から病院の給食科に入職しました。以前、病院の給食職場の経験はありますが、美味しい給食づくりに新たな気持ちで精一杯頑張ります。

調剤助手・竹内真美

昨年から薬局で働いていますが、4月に正式採用

ビタミンA、C、Eはどれも紫外線対策に有効な栄養素です。例えばトマトはビタミンCだけでなくA、Eも豊富です。日焼け対策に効果がある栄養素を豊富に含み、しかも簡単に作れる料理をご紹介します。

トマトとツナのバジルサラダです。ツナはビタミンE、バジルはビタミンAがそれぞれ豊富。すべての食材を混ぜ合わせて冷蔵庫で冷やすだけでできるのでとても簡単。この夏のメニューに取り入れてみては?

(外来・田中)

になりました。円滑な調剤業務のため、薬剤師のサポートに頑張ります。

◎佐伯診療所 宮川美月

4月から看護助手の仕事をしています。これまで医療関係の仕事の経験はありませんが、みなさんのお役に立てるよう頑張ります。

第三十三回通常総代会の開催 告示

大分県勤労者医療生活協同組合第三十三回通常総代会を左記の通り開催します。

【と き】二〇一四年六月二十八日(土) 午後二時より

【ところ】全労済「ソレイユ」7F 大分市中央町4丁目2の5

【予定議題】 第一号議案 二〇一三年度事業・決算報告、監査報告の件

第二号議案 二〇一三年度欠損金処分(案)の件

第三号議案 二〇一四年度事業方針(案)及び 事業収支予算(案)の件

第四号議案 役員選任の件

第五号議案 役員報酬決定の件

第六号議案 議案議決効力発生の件

大分県勤労者医療生活協同組合 理事長 山本 真

お楽しみクイズ

【応募の仕方】
ハガキに答え・住所・氏名と、「お元気ですか」の感想を書いて応募下さい。抽選で10名の方に図書カードを進呈します。
(送り先)
〒870-1133 大分市宮崎953-1

【締切り】6月17日

【3月号の答え】
Q1 A11ミヤちゃん B11うさからくん

Q2 A11那馬トピア B11せせらぎの郷かみつえ

【3月号当選者】

- 佐藤 由佳(天分市)
- 齊藤 まさみ(天分市)
- 指原 愛美(天分市)
- 秦 良武(天分市)
- 富松 由美(佐伯市)
- 森崎 星子(佐伯市)
- 垣野 内茂(佐伯市)
- 都留 晶(日出町)
- 山本 直喜(宇佐市)
- 山本 智子(日田市)

読者のお便り

読者の感想が寄せられています。その一部をご紹介します。

- 毎号楽しみです。消費税の記事は興味深く読みました。
- 靖国の遊就館のことは知らなかったです。
- アベノミクスは我が家には効果なしで、増税がこわい。
- 腰痛です。運動不足と思っていましたが記事を見てよく分かりました。
- 自分に冷静にのり記事、冷静になれる余裕を持ちたいと思いました。
- OB会での講演、魚や肉を適度に食べないと思いました。
- 戦争でできる国になるのでしょうか。孫孫を戦場にやりたくない。